

初空や一片の雲輝きて

日野草城

関宣也

令和3年(2021年)の新しい年を迎えました。

昨年は、多くのことに制限や制約がかかり、何をするにも手探り状態の中、ご家庭の皆さまや、地域の皆さまには多くのご協力、ご支援を賜りまして、誠にありがとうございました。

本年もよろしく願いいたします。

さて、みなさま方は、この年末年始どのように過ごされましたか？
明るい話題はなく、あまり外出もせず、おうちの中で過ごされていたのでしょうか？



私も、ほとんど家におり、掃除や新年を迎える準備をしていました。

そんな準備をしながら、なぜ門松を立てるのだろう、なぜお年玉を渡す(渡される)のだろう、なぜお雑煮を食べるのだろうなど、多くの疑問が出てき、年末からお正月にかけての行事や風習、風物を調べてみました。意外と知らないことが多くびっくりしました。

少し紹介させていただきます。

まずは、お正月といえば、子どもたちも頭に真っ先に浮かんでくるのは『お年玉』ではないでしょうか。

今では、ぼち袋にお金を入れて、渡すことが多くなってきていますが、本来は全く違うもののようなものでした。

もともとは、年神様から新年に授かる『新しい魂』を『年魂(としだま)』といい、年神様の『年魂』をいただくのが由来だそうです。そして、その『年魂』のいただき方は、年神様に供えた丸餅を食べることでした。この丸餅を餅玉といい、「御年玉」「御年魂」と呼んだことから『お年玉』といいます。そして、この餅を食べるための料理がお雑煮だそうです。



また、皆さんは初夢を見ましたか？

初夢七事

- 一 富士
- 二 鷹
- 三 茄子
- 四 扇
- 五 煙草
- 六 座頭



初夢を見ると縁起が良いものを表すことわざに『一富士二鷹三茄子(いちふじ にたか さんなすび)』といいますね。しかし、これには『四 五 六』の続きがあるようです。

お時間があったら、調べてみてください。

いずれも、諸説あるようですので、地方によっては、違う伝わり方がされていると思いますが、受け継がれてきた正月行事や風習、風物には、それぞれに新しい年を健康に過ごし、いい年になるようにという、深い意味が込められています。

私は、普段なかなか会えない人に会い、年賀状などで近況を知ることができるこのお正月が好きですが、今年は寂しいお正月になってしまいました。(次ページに続く)

しかし、お正月にかかわる行事を深く知れたことで、新たな年の始まりの大切さを知ることができ、そしてこの日本文化の奥深さと、人のやさしさを改めて感じました。

困難な今の時代だからこそ、その意味をしっかりと理解し、伝統を絶やすことなく、次の世代に繋げる必要があると思いました。

まだまだ、大変な日が続くと思いますが、しっかりと準備をし、いつでも今までの日常の生活が取り戻せるようにしたいと思います。

これからも、ご理解、ご協力をお願いいたします。

最後に、保護者、地域の方へのお願いと、ご連絡となります。本年度の卒業証書授与式は3月11日に挙行いたしますが、教育委員会より規模を縮小、短時間でを行うようにとの指示がきております。大変残念ではございますが、ご来賓の方のご出席は取りやめと、させていただきますたく存じます。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

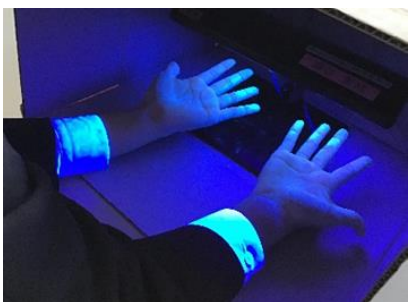
また、令和3年度(来年度)以降の入学式、始業式は4月7日に変更(土日を除く)となることを、併せてお知らせいたします。

よろしくお願いいたします。

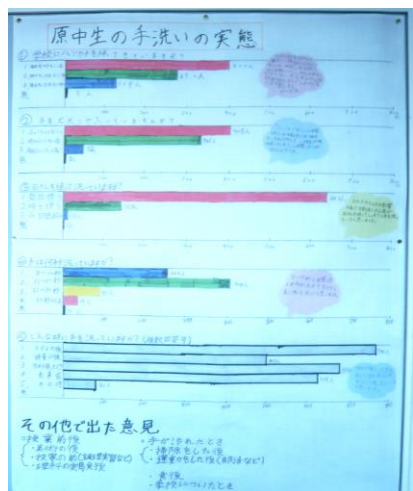
学校保健委員会

12月16日(水)に学校保健委員会を開催しました。今年度は「感染予防の基本、手洗いを見直そう」をテーマに活動を行いました。

事前活動では、保健委員が寒天培地を使用した手洗いの実験、全校を対象にした手洗いアンケート、正しい手洗い動画の作成をしました。



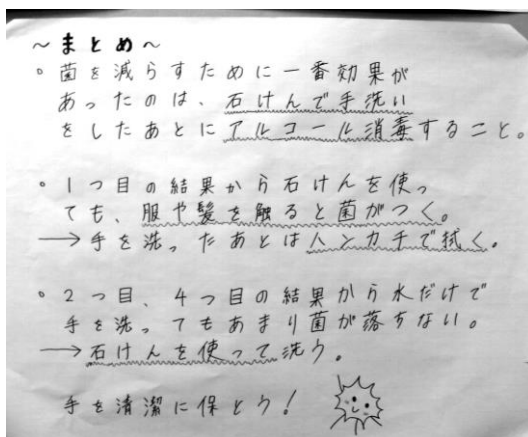
- 手のひらを爪でこする
- 手の甲側もよく洗う
- 指先、爪、指と指の間、指の骨沿いをよく洗う
- 指を握って回しながら洗う
- 手首まで洗う



当日は、事前活動の報告とブラックライトを使用した手洗いの実験を行いました。ブラックライトを使用した実験では、蛍光剤を汚れに見立て洗い残しの多い箇所を観察しました。観察した結果から手洗いのポイントを考えました。

学校保健委員会での活動を生徒たちがまとめたものを調理室前に掲示しています。機会がありましたら、ぜひご覧ください。

生徒たちが考えた手洗いのポイントを一部ご紹介します。



今回の活動が、手洗いの効果と大切さを改めて考える機会となりました。全国的に新型コロナウイルス感染症が急速に拡大している今、一人ひとりが基本的な感染症対策を徹底することが大切だと思います。基本的な対策の一つである手洗いを徹底して行えるように、原中学校全体で手洗いに対する意識を高めたいと思います。

(養護教諭 西川菜乃子)

校内書き初め展

横浜市書写展
出品作品

冬休みが終わり、各クラスには冬休みの課題となっていた書き初めが展示されています。

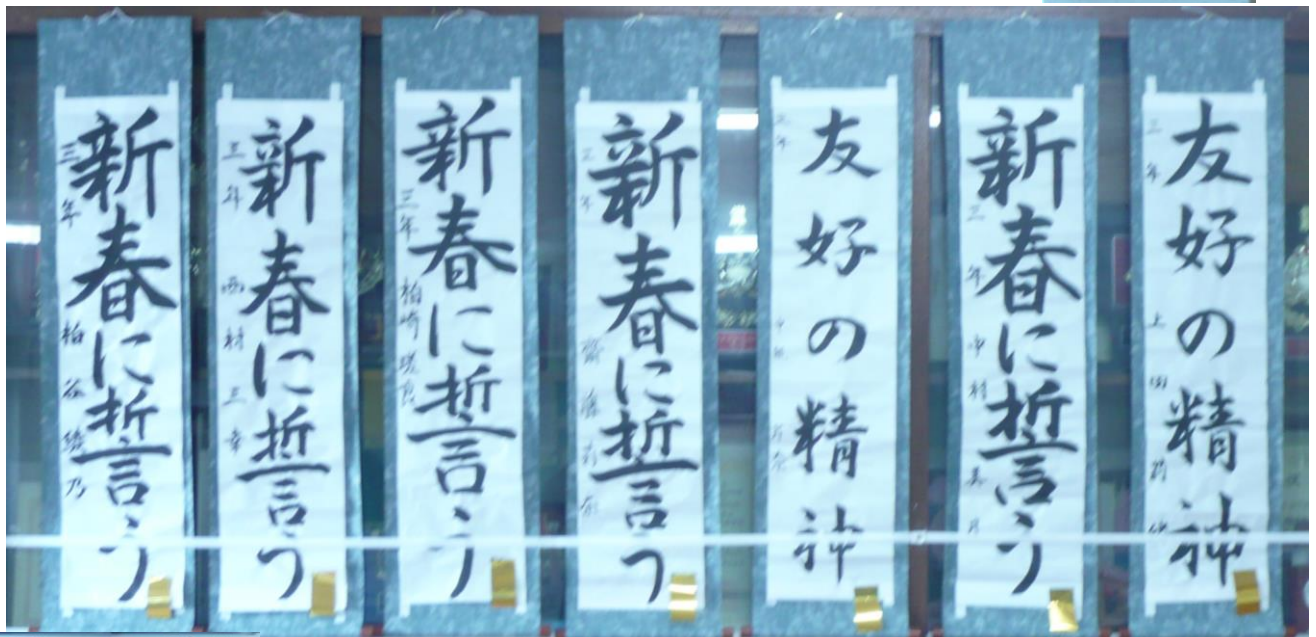
今年度1年生は、「新たな決意」「天地清新」、2年生は「夢を信じる」「功を奏する」、3年生は「友好の精神」「新春に誓う」と素晴らしい作品を書きあげました。学年ごとに「金賞」「銀賞」「銅賞」が選出され、優秀な作品は校長室前に展示されています。

3年生の優秀者から一人を選び横浜市書写展に出品します。「半切」という一回り大きな書初め用紙に書いた作品で、迫力があります。また、各学年の金賞の中から1点を選出し、「瀬谷区中学校書き初め展」に出品します。



書初めは、どんと焼き（地域によって呼び名が異なります）にくべて燃やすというのが習わしです。例年、長屋門公園で行われていましたが、今年は工事のため中止になったようです。来年は参加してみたいかがでしょうか。

（国語科 峰洋子）



防災訓練

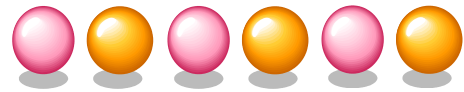
12月9日(水)に避難訓練を実施しました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったり天候に恵まなかったりと、やむを得ず行事を縮小してきました。防災訓練も例年のような形での実施は今回が初めてとなりました。

A棟、B棟の2か所からの出火を想定した火災の訓練でしたが、職員からは「どの学年も生徒の動きがとても良く感動しました。」という声が多く挙がりました。本番を意識した真剣な表情や、速やかな行動は本当に素晴らしいものでした。訓練後には職員からもたくさんの意見や反省が集まりました。防災担当として、今後の職員のスキルアップと防災意識の向上に努めていきたいと思ひます。

(防災担当 井上大之)



放送委員会の新たな挑戦



今年度、コロナ禍の中、少しでも学校の雰囲気明るくしたいという想いが放送委員会内で多く上がりました。個々の放送委員の個性や、放送当番チームの特徴を生かして、毎週あまり変化のない放送を少しずつ変えていくチャレンジをしました。

はじめは原稿を少し変えて、曲のみの紹介から、曲紹介文を加えてみることから始めました。原稿づくりが大変になり、毎週の編集会議も放課後長時間に及ぶことが増えました。しかし、各クラスの担任の先生や聞いている全校生徒からの反響が大きく、放送委員はそれを励みに頑張っていたように思ひます。

クリスマスの放送では、念願のラジオ風放送をすることが出来ました。お悩み相談コーナーなど、趣向を



凝らしたラジオ局さながらの企画で、大きな反響を頂きました。お悩み相談にご協力いただいたリスナーの皆様、ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。



これまでの放送委員会の伝統に新たな潮流を生み出すことができ、皆が自信をつけ、さらに良い放送委員会にしようという熱意が増しているように思ひます。これに満足することなく、委員それぞれの個性を生かして、頑張っていきたいと思ひます。

保護者、地域の皆様へ

令和2年度 卒業証書授与式についてのご願いとご連絡

本年度の卒業証書授与式は3月11日に挙行いたします。教育委員会より規模を縮小し、短時間で行うようにとの指示がきております。大変残念ではございますが、ご来賓の方のご出席は取りやめとさせていただきます。保護者の皆様へは後日詳細をお知らせいたします。ご理解のほど、よろしくお願ひいたします。